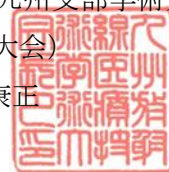


平成 29 年 7 月 1 日

施設長 殿

第 1 2 回九州放射線医療技術学術大会  
(第 6 6 回日本放射線技術学会九州支部学術大会)  
(第 6 3 回九州放射線技師学術大会)

大会長 西郷 康正



## 第 1 2 回九州放射線医療技術学術大会への参加について (ご依頼)

謹啓 時下、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素は本学術大会事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、第 1 2 回九州放射線医療技術学術大会を、平成 2 9 年 1 1 月 1 8 日 (土) ~ 1 9 日 (日)、鹿児島県鹿児島市の宝山ホール (鹿児島県文化センター) にて下記のとおり開催する運びとなりました。本学術大会は (公社) 日本放射線技術学会九州支部ならびに九州地域放射線技師会、(公社) 日本診療放射線技師会の合同開催により、会員の資質向上ならびに放射線医療技術の発展に寄与することを目的に開催致します。

つきましては、業務多端の折、甚だ恐縮ではございますが、貴施設職員の本学会参加についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

会 期 平成 2 9 年 1 1 月 1 8 日 (土) ~ 1 9 日 (日)

会 場 宝山ホール (鹿児島県文化センター)  
〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町 5 番 3 号

大会テーマ 「放射線技術学の粋を集めて～社会に役立てるために～」

参加登録費 会員：4, 0 0 0 円 / 学生：1, 0 0 0 円 / 非会員：8, 0 0 0 円

特別講演 座長 西郷康正 (第 1 2 回九州放射線医療技術学術大会 大会長)

「診療放射線技師の大学院教育はなぜ必要か」

講師 吉浦敬先生 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学分野 教授)

シンポジウム 「放射線技術学における研究成果を社会に役立てるために～臨床経験を活かして～」

基調講演 「放射線技術学を社会に役立てるために、今、われわれが成すべきこと」

座長 / 講師 白石順二 (熊本大学大学院生命科学研究部)

1. 「身近なテーマで研究を始めるために必要なこと」城生朋顕 (大分大学医学部附属病院)
2. 「学会で研究発表をするために必要なこと」久家教幸 (宮崎大学医学部附属病院)
3. 「初めて論文を書くときに必要なこと」川田秀道 (久留米大学病院)
4. 「学位取得が更に活かされるために」黒岩靖淳 (社会医療法人同心会古賀総合病院)

その他 放射線診療と技術学に関する会員研究発表、市民公開講座、実行委員企画等

以上